

児童生徒へのメッセージ

「出会い」

県立特別支援学校埴保己一学園
高等部普通科2年 佐野 優人



私が生きていく中で大切だと思うことは「出会い」です。そう考えるようになったのは、視覚障害になりさまざまな人や新しいことに出会い人生が変わったからです。

中学2年生の冬、大好きな野球をしているときに、視力が急激に落ちてきたことに気づきボールを追えなくなりました。大好きな野球を失い、途方にくれている中、「さまざまな出会い」というものが私を変えてくれました。友達や家族、先生のサポートをもらい、多くの優しさを知ることができました。そして、眼に障害があっても自由に動くことのできるゴールボールというスポーツにも出会うことができ、再び夢中になれるものを見つけることができました。

生きていく中で一つ一つの出会いは、生きる力に変わります。出会いこそ、好きなことや夢中になれること、信頼できる友達を多くつくれることへのスタートラインだと、私は思っています。

私が一番皆さんに伝えたいことは「さまざまな出会いを大切にしてほしい」ということです。それが生きていく力と自信になるからです。



「知ることは目標」

県立特別支援学校埴保己一学園
高等部普通科3年 金子 和也



私は、パラリンピック種目ゴールボールの男子日本代表として活動しています。ゴールボールを知ることによって目標ができ私は変わりました。

小学4年生の時、レーベル視神経症を発症し急激に視力が低下しました。そのため、大好きだった野球ができなくなってしまいました。氣力を失った私に母が勧めてくれたのが「パラリンピアン発掘事業」でした。それが、ゴールボールとの出会いです。仲間と思いきり体を動かす楽しさと、勝利に向かう強い気持ちをチームで共有する一体感にワクワクしました。野球と同じくらい熱中できるスポーツを見つけたのです。

ゴールボールというスポーツを知ることによって、新しい目標が生まれました。2017年には、リトアニア遠征で銅メダルを獲得しました。また、ドバイ2017アジアユースパラゲームズでは、キャプテンとしてチームを統括する緊張を経験しました。現在は2020年の東京パラリンピック金メダル獲得を目標に練習に励んでいます。

「知ることは目標につながる」これが、私が一番伝えたいことです。私は、ゴールボールと盲学校を知り、自ら新たな一歩を踏み出せました。だから、皆さんも困っている人がいたら、なんとかしてあげたいという気持ちを態度にして見せてください。そのことで、立ち直ったり、夢が見つかったりすると思います。



※ 国においては、「特別支援教育の生涯学習化」の推進を目指し、障害のある方々が、生涯を通じて教育や文化、スポーツなどの様々な機会に親しむことができるように取組が進められようとしています。